



研究発表会

（二次案内）

～伝統の根に 革新の芽を～

研究主題

自分らしく「かがやき」自分を表現する子ども

本校は明治2年に「子どもたちのために」という地域の方々の思いと願いにより、町衆の力で誕生した番組小学校の伝統と精神は、今もなおこの地に脈々と受け継がれています。

変動する時代の中「自分らしく生き抜く力」を一人一人に育てていきたいと考え、研究主題を「自分らしくかがやき、自分を表現する子ども」と設定して実践をしてきました。文部科学省研究開発学校の指定を受け、学校教育法施行規則第51条の規定によらず、1単位時間を40分に設定するとともに、それによって生み出した時間を活用して、自分の興味・関心に応じた学びを充実させる教育課程の研究開発を行っています。本校の研究について、皆様からのご意見を頂戴し、今後の実践につなげるべく研究発表会を開催いたします。校務ご多用とは存じますが、多数のご参加をお待ちしております。

11/26

木

10:00-17:00

（受付9:30～）

9:30	10:00	10:20	10:30	11:10	11:20	12:00	13:20	14:20	14:30	15:15	15:30	17:00
受付	研究提案	移動	公開授業Ⅰ	移動	公開授業Ⅱ	昼食休憩	ハカセの時間	移動	事後研究会	移動	全体会	

◆指導助言

札幌市立北園小学校 校長（運営指導委員）

渋谷 一典 先生（じぶん部）

中京大学 教養教育研究院 教授（運営指導委員）

泰山 裕 先生（じぶん部）

中村学園大学 教育学部児童幼児教育学科 准教授

松本 大輔 先生（からだ部）

○ 大谷大学 学生支援部 教務課

教職支援センター 教職アドバイザー

○ 藤本 鈴香 先生（ことば部）

◆全体会（運営指導委員による指導助言と対話）

運営指導委員

札幌市立北園小学校 校長

渋谷 一典 先生

中京大学 教養教育研究院 教授

泰山 裕 先生

進行

京都市立御所南小学校 研究主任

谷口 真由 教諭



会場

京都市立御所南小学校

〒604-0973

京都市中京区柳馬場通夷川上る五町目242

TEL 075-223-0148

FAX 075-223-0149

mail goshominami-s@edu.city.kyoto.jp

公開授業

☆公開授業Ⅰ（10：30～11：10）

授業 NO.	学年・クラス	教科・領域	単元名	授業者
①	1年2組	生活科 個⇄協	だいすき いっぱい わたしたちのごしょ	藤原 純平
②	2年2組	国語科 個⇄協	自分とくらべて読み、 とうじょうじんぶつに手紙を書こう 「お手紙」	田中 愛里
③	3年4組	体育科 協	ポートボール	山本 拳士朗
④	4年1組	総合的な学習の時間 共	みんながほかほか 御所南のまち	今市 英利香
⑤	5年3組	総合的な学習の時間 共	御所南の人と人を つなごうプロジェクト	山田 健太郎
⑥	7組 (育成)	国語科 協	みんなでつくる お話の国 ～創作熟語で世界を広げよう～	村上 善之 人見 智行 高橋 香菜 山田 晋吾 沖島 絢奈 山川 由美子

☆公開授業Ⅱ（11：20～12：00）＊6年生のみ12：05まで

授業 NO.	学年・クラス	教科・領域	単元名	授業者
⑦	2年1組	生活科 個⇄協	もっと 大すきいっぱい ごしょ南のまち	丹野 千聖
⑧	3年3組	総合的な学習の時間 協	京のみりよく	池田 梓月
⑨	4年4組	国語科 共	中心となる言葉や文を見つけ出し、 筆者の伝えたいことを要約しよう 「未来につなぐ工芸品」	金海 葵
⑩	4年5組	国語科 個⇄協		平竹 実紗
⑪	6年6組	総合的な学習の時間 共	笑顔のサロン みんなのサロン	栗津 慎一郎

共・・・共有の時間（単元の見通しや計画を立てる時間・問題・課題に対する考え（答え）を確かめる時間）

☆全ての教科等において、単元はじめに単元全体を見通した問題・課題を設定し、計画を立てる。

☆個別、協働で考えたことを友達と確かめ合う。

個・・・個別の時間（個人で単元の問題・課題に対する考えをつくる時間）

☆子どもたちが、様々な方法で情報を収集・活用し、単元の問題に対して個人で向き合いながら、自分の考えを創り上げる。

協・・・協働の時間（友達と協働し、自分なりの考えをつくる時間）

☆単元全体を見通した問題・課題に対する自分の考えを友達と協働しながら議論し、解を見つけ出したり、考えの異なる友達と討議したりする。

ハカセ
の時間

40分授業を実施することによって生み出した時間を活用して、自分の興味・関心に応じた学びを充実させる教育課程の研究開発を行っています。自分の興味・関心をもとに課題を設定し、夢中になって取り組んだり、自分のやりたいことに対して没頭したりする時間です。

「生み出された時間」を、子どもの時間として返し、一人一人が「じぶん」と向き合う時間にしていくことを目指し、試行錯誤して取り組んでいます。学校運営協議会、保護者・地域から「ハカセの時間サポート隊」を募り、地域の人材を生かしていきたいと考えています。

申込

2026年

11月 24日 木

までに、右のQRコード（または下記URL）から、
お申し込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/evyNpAVzPm>



2000円（資料代）※学生・京都市立学校からの参加者は無料